



## 2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2021年2月12日

上場会社名 エンカレッジ・テクノロジー株式会社  
 コード番号 3682 URL <https://www.et-x.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 (氏名) 石井 進也  
 (氏名) 飯塚 伸  
 TEL 03-5623-2622

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	1,308		85		87		72	
2020年3月期第3四半期								

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	10.90	
2020年3月期第3四半期		

(注1) 当社は、2020年3月期第3四半期は連結業績を開示しておりましたが、2021年3月期第3四半期より非連結での業績を開示しております。そのため、2020年3月期第3四半期の経営成績(累計)及び対前年同四半期増減率については記載していません。

(注2) 「1株当たり四半期純利益」は、信託口が保有する当社株式を期中平均株式数の計算において控除する自己株式を含めて算出しております。

(注3) 「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、潜在株式が存在しないため記載していません。

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	%	
2021年3月期第3四半期	3,875		3,106		80.2	
2020年3月期	3,874		3,250		83.9	

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 3,106百万円 2020年3月期 3,250百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		18.00	18.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,000		200		200		150		22.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2020年11月30日付「非連結決算への移行及び2021年3月期個別業績予想に関するお知らせ」にて公表のとおり、当社は、2021年3月期第3四半期より非連結決算へ移行いたしました。これにより、2021年3月期(通期)は非連結での開示となりますが、通期業績予想の対前期増減率は、比較対象が異なるため、記載していません。

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	6,924,200 株	2020年3月期	6,924,200 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	263,832 株	2020年3月期	122,332 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	6,695,973 株	2020年3月期3Q	6,869,380 株

(注)「期末自己株式数」には、信託口が保有する当社株式が含まれております。また、「期中平均株式数」の計算において控除する自己株式には、信託口が保有する当社株式の期中平均株式数が含まれております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社は、2020年11月30日公表の「非連結決算への移行及び2021年3月期個別業績予想に関するお知らせ」に記載の通り2021年3月期第3四半期より非連結決算へ移行いたしました。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3.「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第3四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(セグメント情報等) .....	6
3. 参考情報 .....	7
第3四半期累計期間における製品・サービス区分別販売実績 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

2020年11月30日付「非連結決算への移行及び2021年3月期個別業績予想に関するお知らせ」にて公表のとおり、連結子会社 株式会社アクロテックの清算手続きが完了いたしました。このため、連結対象の子会社がなくなったため、当第3四半期累計期間より、従来連結で行ってまいりました開示を単体開示に変更いたしました。なお、当第3四半期累計期間は、単体決算初年度にあたるため、前年同四半期の数値及びこれに係る対前年同四半期増減率等の比較分析は行っていません。

当第3四半期累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大及び流行の長期化により、政府の各種経済対策の効果もあって持ち直しの兆しが見られたものの、一部の企業ではIT投資を延期して雇用の維持に資金を向ける動きも見られました。当上半期にいわゆる「巣ごもり需要」により前年同期比で大きな伸長を見せていたゲームソフトの売上もピークを過ぎ、当社が属するソフトウェアプロダクツ市場の売上高は2ヶ月連続で前年同月比減少となりました。(経済産業省2021年1月13日特定サービス産業動態統計速報(2020年11月分))このような環境下において、当社は在宅勤務や時差出勤など新型コロナウイルスの感染防止策を講じながら、新しい付加価値を備えた新製品・新サービス開発に注力いたしました。在宅勤務を行うにあたっては2020年3月にリリースした「ESS REC/ESS REC NEAO」を活用し、情報管理を徹底するとともに生産性を損なうことなく業務を遂行してまいりました。

このような状況のもと、当社は、製品開発面において3月上旬リリース予定の新SIO製品「ESS AdminONE」とシステム証跡監査ソフトウェア「ESS REC/ESS REC NEAO」にAI技術を搭載したカメラセンサー機能の研究開発に努めました。

営業面においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、引き続きイベント出展によるマーケティング活動や対面による営業活動が制限される状況が継続したため、オンラインによるイベントやセミナーなどのプロモーション活動に注力し、当社ソリューションの認知度向上及び有効性についての訴求を行ってまいりました。なお、当社の主力製品である「ESS REC/ESS REC NEAO」は、デロイト トーマツ ミック経済研究所調査による「システム証跡監査ツール」市場において11年連続シェア1位を獲得いたしました。

当社の当第3四半期累計期間における経営成績は次のとおりであります。

当第3四半期累計期間におけるライセンス売上は、新型コロナウイルス感染症の影響によりお客様企業の投資がより慎重となったことを受けて、新規商談の成立に遅延する案件が見られたものの、営業体制強化の成果により4四半期ぶりに1億円を超える売上となり、回復傾向が見られました。対前年同期比で減少幅を圧縮しており、引き続き遅延案件や新規商談の受注・納品に注力いたします。ライセンス売上に派生するコンサルティングサービス売上においては、ライセンス売上の減少による影響で受注に至らず、対前年同期比では38.8%の減少となりました。一方で、ストックビジネスである保守サポートサービス売上とクラウドサービス売上は引き続き順調に増加しております。なお、システム開発サービス事業を終了したことにより、売上高は1,308,530千円となりました。

売上原価ならびに販売費及び一般管理費においては、従来から継続する新SIO製品「ESS AdminONE」の開発や「ESS REC/ESS REC NEAO」のカメラセンサー機能の搭載に向けた投資により、研究開発費が236,902千円(前年同期比50.8%増)となりました。一方で、新型コロナウイルス感染症拡大の影響は、多くの社員がテレワーク(在宅勤務)を実施する中で効率的な業務遂行を実現し、時間外給与の減少となりました。他にも新卒採用イベントの中止・縮小、外部事業者を利用した社員教育の中止など、労務費・人件費関係費用の減少として顕著に表れました。営業・マーケティング活動においても出張費用の未消化、イベント出展をオンラインイベントに変更したことによりイベントブースの造作費用など販売関連費用が減少いたしました。一方で、通信費やテレワーク環境整備に伴う支出が増加いたしました。その結果、営業利益は、85,272千円、経常利益は87,003千円、四半期純利益は72,987千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比べ603千円増加し、3,875,185千円(前事業年度末比0.02%増)となりました。主な増加要因は現金及び預金の増加260,632千円、主な減少要因は投資その他の資産の減少219,317千円によるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ144,882千円増加し、768,999千円(前事業年度末比23.2%増)となりました。主として保守サポートサービス売上における前受金の増加122,513千円によるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ144,278千円減少し、3,106,186千円(前事業年度末比4.4%減)となりました。主な減少要因は、利益剰余金の配当123,412千円の支払、自己株式の取得112,104千円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2020年11月30日公表の「非連結決算への移行及び2021年3月期個別業績予想に関するお知らせ」の通りで変更はございません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,019,865	3,280,498
売掛金	110,173	103,352
未収還付法人税等	49,746	44,940
その他	105,516	95,029
流動資産合計	3,285,301	3,523,820
固定資産		
有形固定資産	57,001	49,380
無形固定資産	35,584	24,608
投資その他の資産	496,693	277,376
固定資産合計	589,280	351,365
資産合計	3,874,582	3,875,185
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	30,118	26,061
未払金	29,601	45,548
前受金	459,939	582,453
賞与引当金	40,481	30,410
資産除去債務	—	7,400
その他	25,394	48,765
流動負債合計	585,534	740,639
固定負債		
退職給付引当金	2,100	1,310
従業員株式給付引当金	2,800	1,450
資産除去債務	33,682	25,600
固定負債合計	38,582	28,360
負債合計	624,117	768,999
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	507,386	507,386
資本剰余金	489,386	489,386
利益剰余金	2,359,302	2,308,877
自己株式	△105,874	△217,979
株主資本合計	3,250,200	3,087,670
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	263	18,515
評価・換算差額等合計	263	18,515
純資産合計	3,250,464	3,106,186
負債純資産合計	3,874,582	3,875,185

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	当第3四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	1,308,530
売上原価	444,379
売上総利益	864,150
販売費及び一般管理費	778,878
営業利益	85,272
営業外収益	
受取利息	70
助成金収入	2,876
法人税等還付加算金	544
雑収入	112
営業外収益合計	3,604
営業外費用	
支払手数料	913
障害者雇用納付金	960
営業外費用合計	1,873
経常利益	87,003
特別利益	
関係会社清算益	2,529
特別利益合計	2,529
税引前四半期純利益	89,533
法人税、住民税及び事業税	6,536
法人税等調整額	10,010
法人税等合計	16,546
四半期純利益	72,987

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第3四半期累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当社は、「パッケージソフトウェア事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社の報告セグメントは「パッケージソフトウェア事業」と「システム開発サービス事業」に区分しておりましたが、第2四半期会計期間より「パッケージソフトウェア事業」の単一セグメントに変更しております。

この変更は、2020年8月31日開催の取締役会において、当社連結子会社である株式会社アクロテックの解散及び清算の決議を行ったことに伴いセグメント区分の見直しを行ったものであります。

なお、当第3四半期会計期間にて、連結子会社 株式会社アクロテックの清算手続きは完了いたしました。

この変更により、前第3四半期累計期間及び当第3四半期累計期間のセグメント情報の記載を省略しております。



## 3. 参考情報

## 第3四半期累計期間における製品・サービス区分別販売実績

(単位：千円)

製品・サービスの名称		前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
	うちESS REC (REC)	224,962	176,625
	うちその他ライセンス	101,491	92,168
	ライセンス	326,453	268,794
	保守サポートサービス	840,077	847,453
	クラウドサービス	56,151	61,273
	コンサルティングサービス	134,562	82,326
	SIO常駐サービス	26,249	16,621
	その他	48,805	32,061
	パッケージソフトウェア事業計	1,432,300	1,308,530
	システム開発サービス事業	43,144	(注) —
	合計	1,475,445	1,308,530

(注) 当社の報告セグメントは「パッケージソフトウェア事業」と「システム開発サービス事業」に区分しておりましたが、第2四半期連結会計期間より「パッケージソフトウェア事業」の単一セグメントに変更しております。